

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ほとあ		公表日		2025 年 3 月 1 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6		基準人員に加え、専門および加配体制を整えています。	職員休暇日の重複がなるべくないような勤務体制作りを工夫していきます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	2	階段昇降時は可能な限り誘導補助スタッフを配置しながら転倒及び事故防止に努めています。	生活空間が2階に位置しておりバリアフリー化を図っていません。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6		・1日2～3回の清掃および感染防止策を実施し、心地よい空間創りを心掛けています。 ・活動内容（運動／学習／制作）を同一の部屋で実施しないよう徹底しています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		静養室を常備しており、こどもの状況に応じて有効活用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		6		見える化を積極的に取り入れています。	見える化を意識しているが、見る時間を十分に確保できていないこともあるので、時間の有効活用を図る必要があります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4	2	アンケートを取り入れたり、送迎や電話、データや対面など様々な方法で情報共有する機会を作るよう心掛けています。	ご家庭ごとに把握機会のばらつきがあるので、まんべんなく把握機会を作っていくよう調整する必要があります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5	1	面談やミーティングなどで意見交換を行っています。	・スタッフごとに意見交換への参加頻度にばらつきがあります。 ・長期休暇中などは意見交換できる時間が少ないので方法の見直しをすべき必要があります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			6		現状実施できていないので今後対応を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6		法人内・外での研修実施、参加を取り入れています。	スタッフによる参加頻度のばらつきや、外部研修への参加機会は全体として少ないので、積極的に取り入れていきたいと思います。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		基本支援に加え、各専門職による専門的視点を取り入れながら計画作成しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		6		児童発達支援管理責任者によるアセスメントや支援員から捉えた日々の様子を共有・分析し計画作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5	1	児童発達支援管理責任者によるアセスメントや支援員から捉えた日々の様子を共有・分析し計画作成しております。	共通理解できるよう心掛けているが、職員により理解にばらつきがあります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5	1	支援計画および定期的に改善目標を共有し計画に沿った支援の提供を心掛けています。	計画に沿った支援が行えるよう心掛けていますが、職員によりばらつきがあります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		日々の行動観察、行動に対する意味・目的などを考慮した支援などインフォーマルなアセスメントは意識して行うことができていますと思えます。	制度に基づいたフォーマルな支援は心掛けていますが、標準化されたツールの導入はできていない部分があるので、今後導入検討をしてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6		家族状況も含めてお子さまおひとりおひとりに合わせた支援計画を設定し、支援の具体化を日々心掛けています。	支援を行う中で優先順位をより具体化することで、偏りのない支援を行い改善状況の拡大へと繋げていきたいと思います。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		各専門職による視点を取り入れながら、チームアプローチを日々の支援の中で大切にしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		週間で狙いを変更しながら活動を行うことで固定化されないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動、小集団、集団活動を組み合わせながら計画作成し、支援を行っています。	放課後等デイサービス利用児童とサービス時間が重複する際には、個別活動をほとんど行うことができていることが課題に感じます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	活動内容の共有や各職員の役割を明確化することで安全確保をしながら適切な支援を提供できるよう心掛けています。	勤務状況により不在となっているスタッフには別日での申し送りを行っています。より機能しやすく統一された申し送りの方法を模索していきたいと思っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援の中で生じた課題や事象、事象に対する振り返りを行っています。	勤務状況により不在となっているスタッフには別日での申し送りを行っています。より機能しやすく統一された申し送りの方法を模索していきたいと思っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援記録を行い、ご家族様も交えての状況報告を行っています。	より具体化しイメージのつきやすい支援記録の方法を模索していきたいと思っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリングの実施、計画の見直しを意識して行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6		児童発達支援管理責任者による支援スタッフへの聞き取りを行い、そして自らも支援場面を確認し会議に参加しています。	会議に参加するのは児童発達支援管理責任者が中心となっているので、その他スタッフの参加も積極的に行っていきたいと思っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	体制作りを行っています。	体制作りに対する実践回数が少ないので体制作りの見直しや機会の確保に努めていきたいと思っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	関係機関との連携および情報共有を大切に、統一した支援を心掛けています。	実際に関係機関を訪問しての場面の共有などは機会が少ないので、必要に応じて積極的に行ってきたいと思っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		6	日々の様子を踏まえた現状の課題や配慮すべき点は日々の共有の中で聞き取りやお伝えをするよう心掛けています。	十分な時間を確保したうえでの情報共有を行うことができているので、共有の方法を模索し、実行していきたいと思っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4	地域における中核機能を担う機関が開催する研修に参加させていただきました。	助言を受ける機会はありませんでした。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		地域参加する機会が少ないので、安全確保をしながら地域への参加頻度を増やしていきたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎や電話、データや対面など様々な方法で情報共有する機会を作るよう心掛けています。	ご家庭の状況によっては伝え合う機会が少ないこともあるので、まんべんなく共有出来る機会の確保に努めていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	きょうだい児を含む家族参加型イベントは開催させていただきました。	ペアレント・トレーニングや研修といった形式での機会はなかったため、今後、環境調整しながら取り入れていきたいと思っています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		丁寧な説明を心掛け、変更が生じた際にもお伝えするようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		ご納得していただいたうえで、同意していただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		ご家族からのお悩み相談に適切に応じ、面談などを行うようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	きょうだい児を含む家族参加型イベントは開催させていただきました。	父母の会や保護者会の実施はできておりませんので、環境整備しながら開催の検討をしてみたいと思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		お子さまやご家族の皆様からいただいた貴重なご意見に関しましては誠意を持ってご対応させていただけるよう努めております。	環境によりすべてのご要望に関して改善を図ることが難しいこともございますが、より充実したサービス提供を行うことのできるよう可能な限り改善に努めてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		通信に関しては日々発信し、HPやSNSでは定期的に開催されるイベントの様子などは発信させていただいております。	HPやSNSではイベント時の発信が中心となっているので、可能な限り日頃の様子なども発信していきたいと思っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いに事業所全体として十分留意しております。	個人情報の取り扱い時には二重チェックを徹底し、より厳重な管理を心掛けていきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子さまに合わせた意思疎通の方法や特性等も踏まえたうえで合理的配慮を大切にしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		行事に対し地域住民を招待することはできていません。安全面に配慮したうえで地域住民を招待できる機会の確保を検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを作成し、マニュアルに沿った研修機会を確保しております。	いつでも、どこでも、だれでも適切な対応ができるよう研修を重ねてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPの策定及び研修を行っています。	訓練に関しては実施回数が少ないので、機会を増やしていきたいと思っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		子どもの状況に合わせて対応できるよう情報共有を行っています。	他児童による誤飲防止などを図る観点から、服薬をお断りさせていただくこともございます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	6		アレルギーのあるお子さまが食事を取られる際には、十分な環境調整及び配慮を心掛け、安心して食事機会を確保できるよう努めています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、必要な訓練や研修を行い安全管理に努めております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			具体的な取り組みまでは周知できていない部分もあるので、速やかに周知できるように取り組みます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット報告及び、改善の取り組みは事業所内で徹底しており再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止研修および委員会の開催を行っています。新職員の入社時にも研修を行うことで統一理解を図っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		身体拘束研修を実施しています。また契約時に説明をさせていただいております。	